

【参考】周辺駅との比較
JR古賀駅とその周辺



JR新宮中央駅とその周辺



1890年に古賀駅が開業し、1919年にはニビシ醤油が進出、戦前までに西口を中心に商店街が形成されてきた。周辺でも、1925年に西鉄古賀駅が開設され(2006年廃止)、現在の市役所の場所に役場が設置された。
戦後以降、駅周辺で市街化が進行したが、東口前面には低未利用地が残されている。
1989年に古賀駅は橋上駅舎として整備され、2005年に現状の形での東口ロータリーが整備された。



JR 新宮中央駅を誘致し、区画整理事業により駅前広場、中央公園、区画道路などの公共施設の整備を一体的に行うことにより、多様なライフスタイルに対応した良好な環境づくりが目指された。大規模商業用地にはイケアが九州初進出として開業している。
事業名：沖田土地区画整理事業
施行面積：約 30.6ha
施行期間：2006年～2013年

J R・西鉄千早駅とその周辺



J R・西鉄香椎駅とその周辺



福岡市東部の交通拠点及び多機能中心核の形成を目指し、鉄道の高架化や幹線道路、駅前広場等の基盤整備や多様な都市機能の導入を目的として区画整理事業により整備された。西口駅前広場の先には並木広場が設けられ、広場と図書館・区役所が隣接している。

事業名：香椎副都心土地区画整理事業
 施行面積：約 66.3ha
 施行期間：1994年～2017年



西鉄貝塚線の高架化と幹線道路、駅前広場、区画道路、公園などの一体的整備による総合的なまちづくりを図り、交通拠点性の強化、既存商業の高度化及び居住環境の向上を目指した区画整理事業が行われている。

事業名：香椎駅周辺土地区画整理事業
 施行面積：約 20.7ha
 施行期間：1999年～2021年

J R 福間駅とその周辺



J R 赤間駅とその周辺



駅東口は区画整理事業により、道路整備及び JR 福間駅の利便性を活かした商業施設用地と住宅用地等の整備が行われ、それと合わせて駅前広場整備がなされた。この整備により設けた大規模商業用地（駅から南東 1km）には、イオンモール福津が開業している。

事業名：福間駅東土地区画整理事業
 施行面積：約 107.5ha
 施行期間：2004 年～ 2018 年



駅南口は 2004 年に整備事業が行われ、駅北口は区画整理事業により駅前広場とその東西の街区の整形化がなされ、道路拡幅による基盤強化や、自由通路、駐車場、駐輪場、消費者生活センター、街区公園などが整備された。

事業名：赤間駅北土地区画整理事業
 施行面積：約 3.6ha
 施行期間：2004 年～ 2017 年